

自
年
月
日

至
年
月
日

復活

満州国事情関係雑件

第

卷

外務省
記録

自
年
月
日

至
年
月
日

満州国事情関係雑件

第

巻

A
6
2
0
5

REEL No. A-0877

0 6 0 5

極秘

主管 滿總、總總

昭和二〇 四六四三 暗

新京 四月二十日發
本省 五月十五日着

東郷大東亞大臣

山田大使

(托送便)

本年一月以降最近迄ノ滿洲國一般情勢概観

本年一月以降最近迄ノ滿洲國一般情勢概観

(一)政治

一月二十六日ヨリ三日間ニ亘リ新京ニ開催セラレタル本年度第一
回全滿省長會議ニ於テ滿洲國ハ大東亞戰局ノ推移ニ伴ヒ從來ノ戰
争寄與ノ立場ヨリ戰爭自戰ノ立場ニ大轉換ヲ爲シ國內總力戰態勢
ノ確立ヲ期スル旨明カニセラレタルカ先ツ國民勤勞勳員ノ徹底強
化、勤勞行政運営ノ刷新ヲ計ル爲三月十二日國民勤勞法ニ大改正
ヲ加ヘ民生部ヲ廢シ厚生部及ヒ國民勤勞部ヲ設ケ又國民勤勞奉公

電信寫

極秘

大東亞省

電信寫

隊司令部設ケラレタルカ右中央ノ機構改革ニ伴ヒ四月一日地方行
政機構ノ改革モ行ハレ又地方人事ノ整備行ハレ他方中々權限ノ地
方移讓モ行ハレタリ
國民勤勞勳員ニ關シテハ更ニ四月十三日官公署會社團體機關等緊
急勳員實施要綱決定セラレ差當リ事務系統職員中三十五才未滿ノ
男子ヲ主要生産、助産、輸送等ニ勳員スルコトトナリタルカ準備
終了ヲ俟テ實施ノ筈
二月二十日協和會第四回全國大會開催セラレ各會員ハ各民族間ニ
一人ノ友人ヲ持ツヘシ等十五項目ニ亘ル會員行動綱領カ決定セラ
レ精銳會員組織ニ依リ決戰態勢ノ確立ヲ計ルコトトナリタリ
經濟
昭和二十一年度全國農產物出荷ハ二月上旬目標ニ達セル旨二月十
七日弘報處ヨリ發表セラレタルカ出荷農產物ノ輸送ハ貨車線ノ
不圓滑、勞力、崩壞等ノ不足ノ爲大問題ナルカ如ク濱江、北安

東京 附三七

極秘

大東亞省

電信寫

及龍江ノ三省ニ於テハ解氷期後ニ持越サルルモノ昨年ニ比シ夫々二倍、三、五倍及一、七倍ニ達スル由ニテ之等輸送未済穀類ハ保管資材不足等ノ爲腐敗ヲ危懼セラレ居レリ

尙本年三月末現在穀物集荷ハ八百九十萬屯前年度ノ繰越二十萬屯ヲ加ヘ九百十萬屯ナリ(本項極秘)

本年度開拓政策ノ基本方針トシテハ増産、防衛、協和ノ三方決定セラレタル處緊急農地造成ニ關シ滿洲農地開發會社ハ本年度及明年年度ノ收穫確保ヲ目標トシ重點的工事を行フ筈ナリ

同政府ハ決戦下富面ノ急務タル鑛工生産ノ擴充特ニ化學工業強化ノ爲鑛工行政部門ノ機構改革ヲ斷行シタルカ更ニ日滿產業再配置ニ伴フ建設工事に完璧ヲ期スル爲本年度土木建築工事に調整非常措置要綱ヲ決定シ政府指定以外ノ工事に繰越及新規トモ四月十日ヲ以テ一切禁止スルコトトセリ

重要物資ノ生産ニ關シテハ昭和十九年度(昭和十九年四月一昭

東京 四三七

極秘

大東亞省

電信寫

和二十年四月)石炭二千五百萬屯、銑鐵百五十萬屯、鋼材三十萬屯「アルミニウム」七千五百萬屯ト概算セラルル由ニテ又今後ノ生産高ニ關シテハ特別ノ支障ナキ限り右程度ハ維持シ得ル見込ノ由(本項極秘)

中銀ノ紙幣發行高ハ客年末五十八億七千萬圓ニ達シ農産物收買資金ノ大部分カ回收セラレ「インフレ」傾向著シキモノアリ

政府ニ於テモ之カ対策ヲ考究中ナリ資金ノ効率計畫性ヲ昂ム爲總務廳ニ資金統制委員會、經濟部ニ審査委員會設ケラレタカ更ニ資金放出統制ノ爲資金放出規制方策要項決定セラレタリ

儲蓄運動ハ好成績ヲ擧ケ居リ農村ニ於テハ三月中旬目標五億三百萬ヲ突破シ五億八千萬ニ達セル由ナリ尙本年度儲蓄計畫ハ昨年度ノ二倍六十億圓ナルカ勤勞者ニ對スル割當ノ負擔輕減ノ意味ニテ昨年度ノ半額八千萬圓ト査定セラレタリ

東京 四三七

極秘

大東亞省

重要物資ノ輸送強化ノ爲旅客列車ノ運行整理行ハレタル。滿鐵ニ於テハ二月二十一日及二十二日ノ兩日經營總力會議ヲ開催シ對日輸送計畫ノ完遂、國內緊急生産擴充物資ノ輸送、朝鮮及北支鐵道對スル援助等ニ關シ具體策ヲ決定以テ決戰下ノ輸送ニ對處スルトトナリタリ

(四) 國民生活

一般食料品ノ配給ハ順調圓滑ニ行ヘレ居ルカ如キモ燃料、電球、衣類、煙草等ハ益々窮屈トナリツツアリ他方滿鐵段ハ漸次高騰ノ傾向ニアリ最近ニ於テハ鶏一羽四十圓乃至四十五圓、鴨卵一個一圓八十錢乃至二圓、牛肉一斤十圓乃至十五圓、煙草十本六圓乃至十圓ヲ唱ヘ居リ一般邦人ノ生活ハ漸次窮屈トナリツツアリ滿人間ニハ相當生活諸物資ノ「ストツク」アルカ如ク又一般滿人ハ糧食買ニ依リ生活シ居ルヲ以テ些シテ窮屈ヲ感シ居ラサル模様ナリ

電信寫

東京 四三七

極秘

大東亞省

大東亞戰局ノ推移ニ伴ヒ就中硫黃島ノ失陷以來滿鮮系一般力戰ノ前途ニ疑惑ヲ深メ來レルハ否定シ得サル所ニシテ又戰局ト「ソ」側ノ日「ソ」中立條約不延長通告トヲ結ビ付ケ日本ノ危機ヲ口スルモノアルカ如シ

滿系一般ハ概シテ戰局ニ無關心ナルカ如キモ政府、特殊會社等ノ幹部ハ自己保存ノ立場ヨリ日本ノ勝利ヲ念シ戰力増強ニ協力シ居ル處中級以下ノ職員ハ戰局ノ前途ヲ憂懼シ自己ノ將來ヲ顧慮シ不安ニ驅ラレ居ルカ如シ、知識階級ノモノハ日本ノ敗戦ヲ傳ヒ悲觀的言辭ヲ吐キ我方ヨリ離反セントスル傾向無キニ非ス民心ノ不安ニ乘スル邪教ノ活躍亦相當ナルモノノ如ク「在家裡」ニ加入スルモノ漸次増加ノ傾向認メラル

電信寫

東京 四三七

鮮系中ノ皇民化セルモノハ日系ト歩調ヲ合セシテ悲觀的ナラス、戰爭完遂ニ協力シ居ルカ如キモ然ラサルモノハ漸ク日本ノ敗戦ヲ不信シ不安ニ驅ラレ居ルカ如ク今後滿系ノ壓迫ヲ顧慮シ農村ヨリ

極秘

大東亞省

都市ニ移住シ又歸歸スルモノアルカ如シ

治安

國內治安ハ概ネ良好ニ維持セラレアリ四月六日ノ三江有通河ニ於ケル滿系警察警備隊ノ暴動モノノ動機ハ單純ナルモノニテ第三者ノ使喚ニ基クモノ乃至ハ大東亞戰局ノ切迫化セル事懸ニ乘セルモノニハ非サルカ如シ

客年末關東軍ト北支軍トノ間ニ協定成リ國軍警察隊及若干ノ行政官カ冀東地區ニ轉出シ積極的ニ共匪討伐ヲ行ヒ好成績ヲ擧ケ居リ他方中共カ本年夏工作ノ重點ヲ冀東地區ニ向ケ居ル等ノ關係モアリ共匪ノ冀東ニ對スル武力進攻ハ謀メテハ非ス唯時折七、八名ノ一團省境ニ出沒スルノミニテ計機ナリ
國軍ノ冀東轉出ニ脅威ヲ感シタル中共ハ偽軍工作ニ依リ又南京ノ對滿冀東二十二縣割讓說ヲ流布シ國軍ノ切崩シ住民トノ離間ニ努メ居ル處冀東割讓說ハ一般ニ對シ相當ノ影響ヲ與ヘ居ルカ

電信寫

東京 四三七

極秘

大東亞省

如ク又新政權側一部ニ於テモ面子問題等ヨリ反對氣運アル由傳ヘラル

中共ノ對滿地下工作ハ相當執拗ニ進メラレ居ルカ如ク黨組織再編工作行ハレ居ルヤノ情報モアリ又我官憲ニ逮捕セラレタル中共工作員ノ自供ニ依レハ冀東遼寧區黨委ハ一月十五日滿洲國軍警ニ對スル工作方針ヲ二月四日對滿軍秘密謀略宣傳要綱ヲ決定シ國軍及警察隊ノ日本ヨリノ離反ヲ煽動セントシ工作員ヲ潛入セシメ又一月十五日對滿遼寧區擴大工作方針ヲ決定シ官憲ノ際ニ備ヘ武装工作隊ヲ海内主要地ニ潛伏セシメ居ル由ナリ
朝鮮重要ノ對滿工作ハ中共ノ夫レニ對抗スル意味モアリ漸次強化セラレシメ居ル模様ニシテ又國軍及滿系警察官ニ對テハ兵士工作モ成近活潑化セルヤノ情報モアリ他方所謂總反攻時ニ於ケル重要施設交通機關等敵要ノ爲ニ工作員約二百名ト海内各地ニ潛伏セシメ居ル

電信寫

東京 四三七

極秘

大東亞省

電信寫

ヤノ情報モアリ茲々興味アル中共側ノ工作積極化スルト共ニ重慶側ノ夫レモ活潑化スル事ニテ兩者ハ聯側獨占ヲ目指シ競走ヲ續ケツツアリ

「ソ」聯ノ對滿工作モ漸次積極化シツツアリ該チ(1)「ソ」聯ノ威容誇示白系露人ノ對「ソ」依存滿人ノ對日離反煽動ノ宣傳ハ依然續ケラレ(2)二月中旬ヨリ白系露人ヲ日横トスル露語「ラジオ」放送開始セラレ(3)宗教問題利用ノ工作モ始メラレ(4)無電謀者ノ活躍モ依然タル模様ニシテ又日「ソ」聯戰等ニ備ヘ潜伏シ居ル謀者モアルカ如シ

(4)ニ關シテハ「ソ」聯極東方面軍強化(1)北滿ニ對スル「ソ」聯側權益要求説、「ソ」聯ノ對滿進出説等傳ヘラレ(2)ニ關シテハ「ソ」側ノ直接又ハ間接ノ工作ナレト略々確實ト見ラレ放送局ノ所在ハ哈爾濱又ハ「ビロビツジャン」附近ト推定セラレ居レリ(3)ニ關シテハ「ソ」聯政府ノ宗教ニ對スル態度緩和

東京 四三七

極秘

大東亞省

電信寫

ノ宣傳ハ依然執拗ニ續ケララルル外「モスコ」ヨリ印刷物ヲ送付スル等漸ク積極的ナラントスル傾向アリ(1)ニ關シテハ本年一月以降官憲ニ逮捕セラレタル無電謀者ノ主ナルモノ哈爾濱一件ニ名牡丹江一件二名等(何レモ支那人)ニシテ何レモ直接「ソ」聯極東方面軍ヨリ派遣セラレ軍狀ノ偵報ニ暗躍シ居リタルモノ由

(1)滿「ソ」關係

「ソ」滿「ソ」間ニ三月十二日滿「ソ」領事館物資相互配給ニ關スル協定交換セラレタリ又兩國間ニハ目下哈爾濱、齊々哈爾濱及滿洲里ニ於ケル「ソ」聯權益ノ現狀恢復ニ關スル竝ニ滿蒙間越境家畜ノ交換ニ關スル交換行ハレ居レリ尙交渉面ニ現ハレタル「ソ」側ノ態度ニハ時ニ變化認メラレサル由ナリ

(2)軍測調査ニ依レハ「ソ」蒙側國境不法行為件數ハ一月中十一件二月中九件ニシテ各年十二月ノ十九件ニ比シ少ク外交部調査ニ

東京 四三七

極秘

電信寫

大東亞省

依レハ三月中ノ對「ソ」抗議件數ハ三件（何レモ一月中ニ發左
 セル事件ニ關スルモノ）ナル由
 客年末頃ヨリ極東方面ニ新型ノ飛行機及戰車出現シ又兵力ノ輸
 送若干アリタル模様ナル處三月ニ入りテヨリ飛行機乃至兵員ノ
 東送目立ツ様ニナリ警戒ヲ要スルモノアリ
 北京、上海、張家口及「ソ」へ郵送アリ
 外務大臣へ轉報アリタシ

東京 四三七